

令和6年度森川特別支援学校 保護者アンケート考察

生徒の登校が安定しないなかでのアンケートのご協力いただき誠にありがたいことである。全体的に見て、児童生徒の授業や学校教育に対して高い評価となっており、日頃の教育活動、保護者との連携に努めた教職員の姿勢によるものと考えられる。これからもさらに教育活動について、その目標と学習活動や内容・評価の関連を意識し保護者に伝えて周知を図り、連携して取組めるよう働きかけたい。

評価内容に関して、ほとんどの評価項目で「Aとても思う」「B少し思う」の良い評価をつけ、概ね肯定的な回答を得ている。以下、「Cあまり思わない」「Dぜんぜん思わない」を合わせて2人以上評価を付けている評価項目に対して考察する。

⑫子どもは学校へ行くのが楽しそうである

→年間を通して職員が創意工夫しながら、授業や指導等に取り組んでくれた。本校生徒の実態として、学校に向かうこと自体が難しいという生徒がいることは否めない。そのような生徒が少しでも足を運びやすいように、実態に即した内容や授業の理解促進のための工夫改善を図っていきたい。

⑰台風やその他の災害時の対応について、保護者との連携が図られている

→年度はじめに台風接近時の対応についてのお知らせを持たせて周知を図っている。また、常に保護者には担任・担当と連絡がつながるように協力いただいている。今後も引き続き周知を図り、連携を図っていく。